

大野市中心市街地活性化基本計画

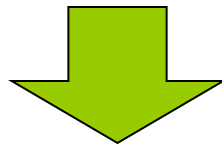
(計画期間 20年7月～25年3月)

【中心市街地を巡る状況】

○大野中心市街地は、1600年代から城下町として発展

○中心市街地に寺社や古くからの商店が集積するとともに、豊富な湧水により水のまちとして有名

○戦後、郊外の宅地開発により、町屋から郊外の一戸建てに人口が流出



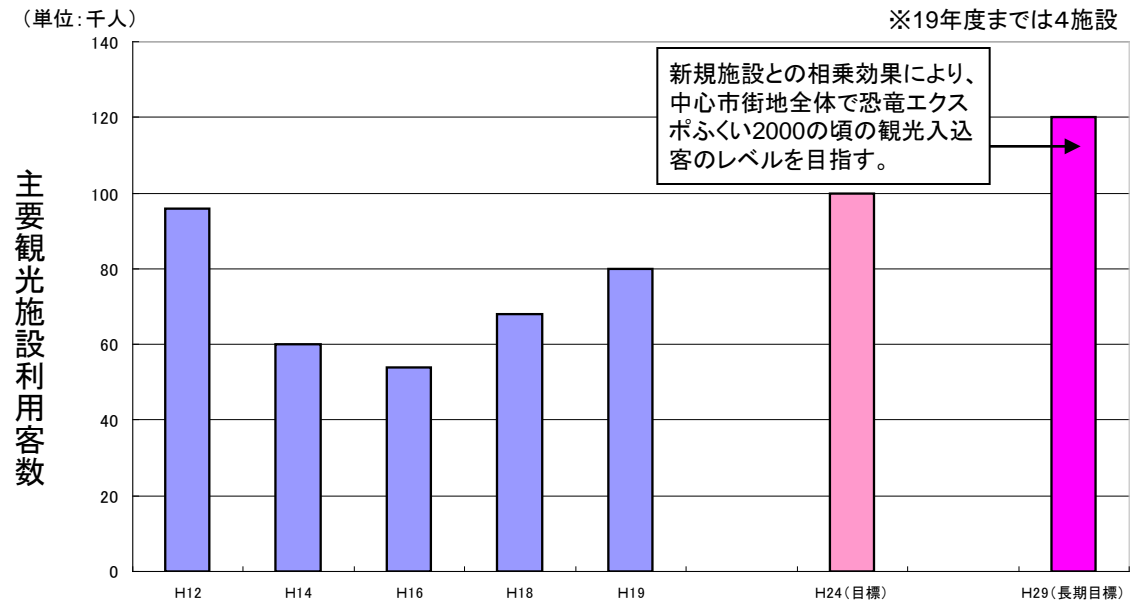
○中心市街地の人口減少
H9: 3,474人 → H19: 2,820人 (△19%)

○小売商業年間販売額
H9: 75.3億円 → H16: 31.7億円 (△58%)

【目標】

| 目標 | 指標 | 現況値 | 目標値(H24) |
|--------------------|-------------|---------|----------|
| まちなか観光による交流人口の増加 | 5観光施設の利用者数 | 80,234人 | 100,000人 |
| 商店街を中心としたまちなか生活の充実 | 歩行者通行量(6地点) | 2,001人 | 2,400人 |

(中心市街地の主要5観光施設の利用客数の状況と数値目標)



中心市街地を、人々の生活や営みの中心として再生するとともに、現在も保存されている歴史的・文化的資源、景観資源等を有効に活用しながら、多様な人々が集う、活気に満ちた魅力あるまちに再生する。

大野市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなか観光の推進

○越前おおの結駅整備事業

旧小学校跡地に観光用駐車場(バス20台、普通車60台)等を備えた交流・観光拠点を整備する。

- ・旧大野藩武者溜(藩主隠居所)を移築し、休憩所、エコ・グリーンツーリズムの窓口に活用
- ・まちなか観光・商店街情報等を提供する「輝(キラ)センター」を商工会館に併設



まちなか散策ツアー



七間朝市

○街なみ環境・石畳整備等事業

寺社群や伝統的な建物が残る地区を道路景観整備(石畳)及び歴史的遺産(百間堀等)の復元・保存し回遊コースとする。



七間通り石畳



百間堀

○御清水・湧水スポット整備等事業

市民の誇りである清水や水路、湧水池を整備し、市民や観光客が自然や歴史を体験できる回遊コースとする。

○商店街七五三事業

七間・五番・三番商店街が、四季折々の味覚市等やライトアップ等、統一的雰囲気づくりを行い、商店街の魅力を高める。

中心市街地: 87ha



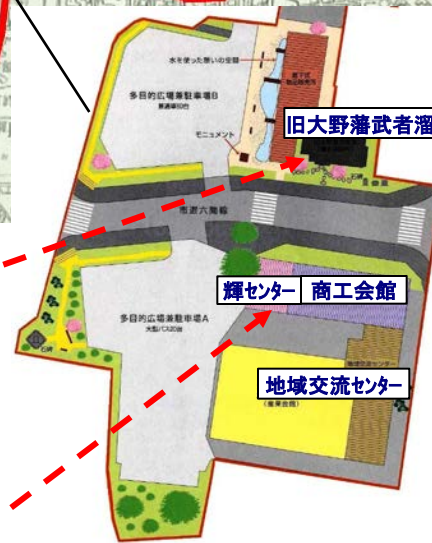
名水百選御清水

観光協会

名水百選御清水



旧大野藩武者溜(藩主隠居所)



輝センター 商工会館

地域交流センター



商工会館・輝センター



越前おおの結駅

まちなか生活の充実

○五番街商店街活性化対策事業

倒産したスーパーを地元商業者グループで再生し、店舗と公共施設を備えた住民サービスの場として整備



○保健・医療・福祉サービス拠点施設

中心市街地で一体的なサービスを受けることができる拠点施設を整備

○空き家・空き店舗を活用した福利施設の設置支援事業

空き家、空き店舗等を活用して、高齢者支援施設や子育て支援センターなどを開設する者に対して家賃や改装経費を補助する。

○地域交流センター整備(結駅内)

結駅内の旧小学校施設を街の景観に配慮した外観に改修した上で、様々な団体が利用し、交流できる多目的ホールを設置する。

○まちなか居住の推進

中心市街地に転入する者や景観に配慮した家を建築する者へ市が支援する。

- ・まちなか町家暮らし支援事業
- ・越前おおの定住促進事業